

令和5年度

第3回市政モニター会議

みとの魅力発信課 市民相談室

## 次 第

開会

市政モニター会議について

休憩

水戸市の移住・定住促進のまちづくりについて

事務連絡，質疑

閉会

# 市政モニター会議について

## 1 市政モニター会議とは

市政モニター提言書を作成するために、複数回会議を開催します。会議においては、それぞれの方が作成した提言様式を基に意見交換を行い、皆様がつくりたいと思う未来のまちの姿を磨き上げたり、他の方との意見の統合をしたりしていただきます。

これにより、市政モニター活動の趣旨の達成を図ります。

○参考：市政モニター活動の趣旨

より良い広聴環境の形成のため、20歳～39歳の若い世代に市政を紹介するとともに、市政を研究した御意見等を市にいただくことを活動の趣旨としています。

### 会議スケジュール（予定）

会議	期日	内容
第1回	5月12日（金）	・市政モニターの説明 ・市政概要の説明
第2回	6月8日（木）	・テーマである「水戸市の移住や定住の促進に向けたまちづくり」の検討
第3回	7月19日（水）	
第4回	8月中旬頃	
第5回	10月上旬頃	・市からの情報提供
第6回	11月下旬頃	・テーマである「水戸市の移住や定住の促進に向けたまちづくり」の検討及び提言書の校正
第7回	1月上旬頃	・市長への提言内容の発表方法等の確認
第8回	2月下旬頃	市長へ提言書提出  (参考) 令和4年度市政モニター提言書 テーマ：水戸市の移住・定住促進に向けた取組 小テーマ1：「子育て・教育」 小テーマ2：「みとで働く」 小テーマ3：「ON/OFFもみとでいられるまちづくり」

## 2 提言書作成の流れ

提言書作成の具体的な流れは次のとおりです。

### 1：提言様式の作成・提出

「市政モニターまちづくり提言書作成マニュアル」を基に提言様式に必要事項を記入し，市民相談室へ御提出ください。なお，未完成の状態でも構いません。

※提言様式の作成・提出は任意となりますが，ぜひ取り組んでみてください。なお，提言様式の御提出は一人一枚までとさせていただきます。

※提出期限を10月末とし，それ以降はブラッシュアップの期間とする予定です。



### 2：担当職員との打ち合わせ

御提出いただいた提言様式を基に，担当職員と打ち合わせを行います。



### 3：それぞれの御意見を基に，会議で意見交換

市政モニター会議時点で提出されている提言様式を提言書へ転記します。それを基に市政モニターの皆様で意見交換を行い，提言の内容等をさらに深めるとともに，同様の御意見の方同士で提言をまとめていただきます。

また，水戸市の取組に関する情報を市民相談室から提供いたします。

※提言様式をご提出されていない方も会議へ御出席いただき，意見交換にご参加いただきます。



### 4：提言書の完成

会議での話し合い等を踏まえ，市民相談室が提言書（素案）を作成します。それを市政モニターの皆様で確認し，提言書を完成させます。



### 5：提言書の提出・発表

市政モニターの皆様から市長へ提言書を提出し，提言書の内容の発表を行います。

市長からは発表に対してのコメントをいたします。



### 3 会議のテーマ

「水戸市の移住・定住促進のまちづくり」をテーマとして、意見交換をお願いします。移住・定住の促進とは、水戸市を生活拠点として選んでいただくということになります。

そのため、『水戸市で暮らしたい!』と多くの方から思ってもらえるまちづくりについて、ぜひ、活発な意見交換をお願いします。

#### ○参考

- ・意見交換の時には、数名ごとにグループを作ります。もしも「移住・定住」という言葉では話しづらい時には、子育て、教育、福祉、防災、地域コミュニティ、スポーツ、などなど、話しやすい身近なジャンルをグループごとに設定し、そこから意見交換を始めていただいても構いません。

### 4 会議のルール

円滑な運営のため、以下のルールへの御協力をお願いいたします。

#### ○会議のルール

- ・自分たちのまちの未来は、自分たち（市民の皆様）で決めるのが現在のまちづくりの制度です。そのため、世の中の風潮等ではなく、御自分が持たれている率直な考えを基に意見交換をしてください。
- ・自分とは意見が違う方がいたとしても、自分と相手の意見のどちらにも一理あるため、お互い丁寧に御自分の考えの良いところを伝えてください。
- ・意見交換の際には、皆から共感されるような、より良い新たな意見を見つけ出すことを意識してください。特に、「良いまちとは何かを皆で自由に考え、話し合うこと」を意識しながら意見交換をお願いします。
- ・会議の場での御発言と皆様が提出される提言は内容が違ってしまっても構いませんので、積極的な御発言をお願いします。なお、多くの人の意見を聞くことができるように、皆が話しやすい場づくりへの配慮をお願いします。

- 自分と似た考えをお持ちの方がいた場合には、極力提言様式を一つにまとめていただくよう御協力をお願いします。（市民相談室がまとめるサポートを行います）。
- 「良いまちとは何か」を考えるにあたっては、皆が納得できる客観的な答えがあると想定して、話し合いを進めてください。

（参考）「良いまちとは何か」を考える時、「皆が納得できる客観的な答えはない」と想定した場合

この時、「良いまちの答えは人それぞれ」となります。

そうすると、話が平行線になってしまい、他者との議論がまとまらなくなってしまいます。

同様に、自分の中で「良いまちA」、「良いまちB」というように複数の考えが浮かんだ時に、どちらも正解となってしまう、自分の中でも答えがまとまらなくなってしまいます。

そのため、他の人との議論もまとまらないし、自分の中で考えをまとめることもできない、ということになってしまいます。

その結果、何らかの行政サービスを提供する時、目指すまちの姿をまとめることができず、良い行政サービスを判断する基準も無くなってしまいます。

#### 【日常生活の例】

上記を日常生活で例えると、友達と何のご飯を食べに行こうかと話し合っている場面を挙げることができます。

#### ①皆が納得できる客観的な答えがあると想定する場合

この場合には、初めは自分と友達の意見が違っていても、話し合えば共に納得できる答え（共に食べたいと思える料理）を見つけることができるだろう、と話し合いを続けることができます。

#### ②皆が納得できる客観的な答えが無いと想定した場合

この場合には、自分と友達の意見が違ってしまった時点で、「食べたい料理は人それぞれ」という答えになってしまい、そこで話し合いが終わってしまいます。

## テーマ「水戸市の移住・定住促進のまちづくり」

### 提言様式

項目		内容
ア	テーマに対して、私 が作りたい水戸市 (タイトル)	移住者の安心作り
イ	項目アの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちの環境について 県外、市内から来られる人の不安を払拭できる試み</li> <li>・ 市民の活動について</li> <li>・ まちの魅力とテーマとのつながりについて</li> </ul>
ウ	項目イの中で、今回 の提言で作りたい 水戸市の魅力	移住者同士のコミュニティの場所作り
エ	項目ウを実現させる ために解決・改善す べき課題 (実現に必要な条件 や、実現のために解 決すべきこと)	首都圏からの移住 配偶者の転勤等に伴う移住 起業するための移住 第二の人生のための移住 →各テーマでコミュニティ作りのお手伝い また、それぞれの経験者の紹介システム
オ	取組 (項目エを解決・改 善する取組)	
	実施主体	水戸市 (行政)
	備考	水戸のイメージとは。  例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 首都圏からのアクセスの近さ (初めて来る方は大体言っている)</li> <li>・ 車の運転が楽です。首都圏では運転を躊躇する人も安全運転できる</li> <li>・ 本数は少ないが、満員電車が少ない。</li> </ul>

## テーマ「水戸市の移住・定住促進のまちづくり」

### 提言様式

項目		内容
ア	テーマに対して、私 がつくりたい水戸市 (タイトル)	市民の地域への意識向上
イ	項目アの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの環境について</li>   <li>・市民の活動について</li> </ul> <p>ー市民はどうしても「市がやってくれるから」「誰かがやってくれるから」と思いがちなためその意識を変えられるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの魅力とテーマとのつながりについて</li> </ul>
ウ	項目イの中で、今回の提言で つくりたい水戸市の魅力	小さな困りごとを市民同士で助けられる活動作り
エ	項目ウを実現させる ために解決・改善すべき課題 (実現に必要な条件や、 実現のために解決すべきこと)	<p>子育て中のお父さんやお母さん→家の掃除をしてほしい、一人時間がほしい、送迎を頼みたい</p> <p>高齢者→家の掃除、片付け、病院の付き添い、買い物 どちらも助けてくれる人が身近にいない人達</p> <p>バイトの求人みたいに困りごとや助けてほしいことをあげ、それを助ける人達を繋げられるシステム</p>
オ	取組 (項目エを解決・改善する取組)	<p>料金設定→ボランティアでより有償の方がトラブルが少ないのではないか</p> <p>気軽に頼める仕組みづくり</p>
	実施主体	水戸市 (行政)
	備考	



## テーマ「水戸市の移住・定住促進のまちづくり」

### 提言様式

項目		内容
ア	テーマに対して、私がつくりたい水戸市 (タイトル)	こども達の健康促進
イ	項目アの内容	<p>・まちの環境について 未就学前の遊べる場所は充実しているが、小学生が安全で気軽に遊べる室内施設がない</p> <p>・市民の活動について</p> <p>・まちの魅力とテーマとのつながりについて</p> <p>室内施設を利用することで市民の施設の認知も高まるのではないか</p>
ウ	項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力	雨の日、夏の日、土日のみ無料もしくは低料金で開放（すべての施設が常時開放でなくてもこの日はこの場所のみ利用可）
エ	項目ウを実現させるために解決・改善すべき課題 (実現に必要な条件や、実現のために解決すべきこと)	既存の建物の有効活用→アダストリア、堀原運動公園、ミオス、ケーズデンキスタジオ、市民会館、市内にある体育館
オ	取組 (項目エを解決・改善する取組)	気軽に使える施設にできるか、安全面、夏は冷房があるか
	実施主体	水戸市（行政）
	備考	

## テーマ「水戸市の移住・定住促進のまちづくり」

### 提言様式

項目		内容
ア	テーマに対して、私 がつくりたい水戸市 (タイトル)	障害児・障害者が安心して生活できる水戸市
イ	項目アの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの環境について</li> <li>・市民の活動について</li> <li>・まちの魅力とテーマとのつながりについて</li> </ul> <p>障害のある人も楽しめるー花火大会，音が苦手，ゴミが苦手，待つことができない，車いす駐車場がない⇒あきらめる ⇒市役所開放←抽選も有り</p> <p>療育施設の拡大 水戸市で運営ーPT，OT，ST，医師，保育士，看護師，全て連携された施設。 安心して利用できる施設 親の療育への参加，障害の種別を越えて利用できる 親同士の情報交換の場になる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由児の特別支援学校があるにも関わらず，水戸市ではなく学校から遠いひたちなか市等に住む人が多い</li> <li>・18歳以上の生活介護施設が水戸市にほぼない (ひたちなか，那珂市に多い) ショートステイ含め</li> <li>・知的の放課後デイサービスは割とたくさんあるが，肢体の受入れが少ない。医療ケアがあるとなおさら</li> <li>・愛正会が機能していない</li> <li>・おむつの助成の拡大 (脳原性でない申請がおりない) (自分で意志表示できないとオムツは必須です)</li> <li>・療育手帳の発行先の家庭センターが車いすには厳しいエレベーターの広さ</li> <li>・水戸駅のエレベーターの狭さ，使いにくさ</li> <li>・県内で水戸市が変わるときと他の市も変わる！！</li> <li>・休日夜間救急センターが夜中に閉まっている。 (子どもが体調崩すのは夜中に多い)</li> </ul>
ウ	項目イの中で，今回の提言でつくりたい水戸市の魅力	
エ	項目ウを実現させるために解決・改善すべき課題 (実現に必要な条件や，実現のために解決すべきこと)	
オ	取組 (項目エを解決・改善する取組)	
	実施主体	水戸市 (行政)
	備考	<p>○姫路市の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育手帳 年3万</li> <li>・身障手帳 年3万</li> <li>・介護手当 月1万 (親に)</li> <li>・動物園で障害児向け無料開放デー有り</li> <li>・ルネス花北 (先進施設) 有り</li> </ul>